



2030 年に大人になる 子どもや若者とともに in 大津

2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標、SDGs。その 2030 年に大人になる、現在の子ども・若者が安心して暮らせる社会をつくる。

本フォーラムでは、元文部科学事務次官、前川喜平氏の基調講演と、大津市内で「子ども・若者支援」に関わる団体（大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021 支援先団体）を交えたパネルディスカッションで、その方策について知見を交わします。



第一部 元文部科学事務次官 前川 喜平氏 基調講演 「子どもたちが安心して多様な生を育む権利」

1955 年奈良県生まれ。1979 年東京大学法学部卒業、文部省（現文部科学省）に入省。大臣官房長、初等中等教育局長などを経て 2016 年文部科学事務次官。2017 年退官。現在、日本大学文理学部非常勤講師。福島市と厚木市で自主夜間中学の講師も務める。

プログラム

第一部 前川喜平氏 基調講演 14:00 ~

第二部 パネルディスカッション 15:10 ~

終了後、前川喜平氏著書の販売とサイン会を予定

2021年

11/27

14:00 ~ 16:00 土

会場 スカイプラザ浜大津 7 階
〒520-0047 大津市浜大津 1 丁目 3 番 32 号

料金 1,000 円

※経費以外は大津市内の「子ども・若者支援」団体に寄付されます

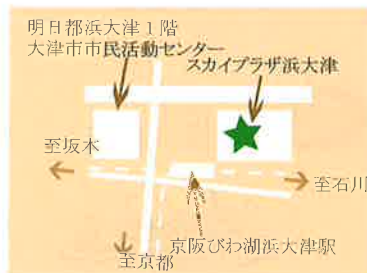
お問合せ・チケット窓口

大津市市民活動センター (077-527-8661)

〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1 階

ネットから購入

https://peraichi.com/landing_pages/view/1127otsu



京阪「びわ湖浜大津」駅すぐ
車の場合は大津市公共駐車場を
ご利用ください



第二部 パネルディスカッション

2030 年に大人になる 子どもや若者ととともに

パネラー（登壇者は裏面記載）

NPO 法人こどもソーシャルワークセンター

NPO 法人CASN

NPO 法人寺子屋共育庵

一般社団法人異才ネットワーク

日和寺子屋大津

社会福祉法人大津市社会福祉協議会

前川喜平氏

パネルディスカッション
参加団体と登壇者の紹介（敬称略）

前川 喜平
元文部科学事務次官。
日本大学文理学部非常勤講師

☆一般社団法人 **異オネットワーク**

「多様性を認め合える社会の実現のために」を理念に、不登校児童生徒のためのオルタナティブスクール「トライアンプ」、生きづらさを抱えるギフテッド・2eのための親の会、発達凹凸を抱える大人の当事者会など運営している。

谷川 知／一般社団法人異オネットワーク代表理事。自身の子どもが不登校となったことより、教育や特別支援について関心を持つに至った。

☆NPO 法人 **CASN**

18歳までの子ども専用電話チャイルドラインの定期開設。スローな子育てや、親子リズムなどでの子育て支援。集団で遊ぶ場を作ったり、遊びを教える人を育成するあそび倶楽部。せいらんみんなの食堂やフードドライブ晴嵐を地域と共催開催。

谷口 久美子／保育士、おやこ劇場事務局を経て、現在は社会福祉法人の職員として働きながら、CASNの発足当初から理事長として現在に至る。

☆NPO 法人 **こどもソーシャルワークセンター**

三井寺駅近くの一軒家を使って、虐待や貧困、不登校やいじめ、発達課題などで家庭、学校にしんどさを抱える子ども若者たちを地域のボランティアの力で支えている。コロナによって利用する子どもが増えているため毎日開所している。

九鬼 康多／和歌山県出身。2016年学生卒業後仙台へ。NPO法人せんだい社のこども劇場福岡児童館にて非常勤職員。2019年よりこどもソーシャルワークセンターに勤務。

☆NPO 法人 **寺子屋共育轍 - わだち -**

不登校や発達障害、貧困、虐待など、様々な背景を持った子どもたちの居場所づくりを行っている。学童事業を基盤に、学習支援やコミュニティ食堂（子ども食堂）、トワイライトステイ、フリースクールなどの様々な事業を運営している。

蔵田 翔／高校へ進学せず大検を取得。大学在学中に活動をスタートし、卒業と同時に法人化。地域から子どもがおいてきぼりにならない社会を目指す。

☆ **日和 - 寺子屋大津**

2006年より「ゆるく楽しく」をモットーに大学生を中心に地域の住民と協力しながら外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援活動を行っている。子どもたちの学習支援に加え、保護者の日本語学習や生活面での相談にも応じている。

中島 大知／奈良県出身。大学の移民史の授業で日和の存在を知り、2020年より活動に参加。大学では主に中国近現代史を研究している。

大津市社会福祉協議会

大津市社会福祉協議会は、昭和27年（1952）2月に設立され、民間の立場から福祉の啓発活動や総合相談活動、市民の助け合い活動を推進する役割を担う。一人ひとりを認めあい、支えあう、おおらかなまち“大津”を目指して、市民・当事者が主体の福祉のまちづくりを進める。

葛城 朋子（相談支援課 相談室長）／大津生まれの大津育ち。生活や心配ごとなど個別の相談援助全般に携わる。日々「ええ人」探しを心がけている。

大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021 とは

大津市市民活動センターでは、SDGsをテーマに、市民、行政、企業、大学の四者協働により社会貢献を進めています。今年度はSDGs 1「貧困をなくそう」をターゲットにし、「子ども・若者」支援に焦点を当ててプロジェクトに取り組んでいます。本フォーラムを含め本プロジェクトのイベントの参加費は経費を除き全て☆がついている団体に寄付されます



協賛

叶 匠 壽 庵

コープ自然派

小林事務機株式会社

SHIGA BANK

滋賀県信用保証協会

SHIGATAN
Shiga Junior College

DYNAMIC SHOKEN
株式会社 昭建

正和設計
SEIWA 株式会社

SOMPOひまわり生命

一生運のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

BEST PARTNER
大樹生命

Biwako Kisen

さあ、子どもたちと学びの旅に出かけよう
まちのきょういく委員会

京都中京区 みんなの居場所
学び舎 傍楽

びわ湖ホームセンター 京滋

滋賀銀行 保険共同募集会社
レーク商事株式会社

一般社団法人滋賀グリーン
活動ネットワーク

株式会社まちづくり大津

イオンスタイル大津京

坂本民主診療所

膳所在宅ケア
ステーション陽だまり

後援 淡海ネットワークセンター 社会福祉法人大津市社会福祉協議会 朝日新聞大津総局 NHK 大津放送局 京都新聞 毎日新聞大津支局
読売新聞大津支局 株式会社滋賀リビング新聞社 びわ湖放送株式会社 株式会社エフエム滋賀